



一中だより

令和6年 9月6日 発行 5号

新潟市立新津第一中学校

電話 0250 (22) 3622 FAX 0250 (22) 6407

HP <http://www.niitsuljh.city-niigata.ed.jp/>

e-mail j501niitsul1@city-niigata.ed.jp

2学期スタート！

2学期始業式での校長先生のお話です。

7月26日から始まった31日間の夏休みが昨日で終わりました。大きな事故もなく、みなさんが揃ってここに集まったことが何よりです。

この夏はパリ・オリンピックや甲子園での産大附属高校の活躍など感動的なシーンを目にしました。みなさんも大会やコンクール、体育祭のリーダー活動、或いは新人戦や次の大会に向けた練習、新津松坂やお祭りなどの地域の行事、3年生は塾の夏期講習等、思った以上に忙しかったという人も多いのではないのでしょうか？忙しくて、時間があっという間に過ぎた人ほど充実した有意義なものだったと言えるでしょう。

私も大会やコンクール・発表会、地域の行事へ出かけ、みなさんの頑張る姿や楽しんで参加している姿を見てきました。心を打たれる素晴らしい発表や姿を目の前で見て感動しました。また、地域の方から「一中生がたくさん参加してくれて、ありがたかった。」「今までよりもマナーや参加する態度がよく、感心しました。」などと、お礼や感謝、お褒めの言葉を頂きました。とても嬉しかったです。目に見える結果や大きな成果がでなくても、一生懸命取り組んできたことは全て大きな財産です。これからもその思いや行いを大切にしてください。

さて、今日から2学期が始まります。2学期は今週末の中間テストから始まり、体育祭、稲刈り・脱穀、新人戦、合唱コンクール、総合学習の各種体験や発表会、防災体験学習、生徒会役員の選挙、合唱部は体育祭の前日にNHKコンクール関東大会もあり、本当にたくさんの方が控えています。2学期はこういったことを通じて、個人としても、また集団としても大きく成長することができる機会がたくさんあります。一人ではできないけれども、大勢で助け合い、協力し合うからこそできる活動があります。

そこで、始業式にあたり、「Well-being (ウェル・ビーイング)」という話をします。

近年「ウェル ビーイング」という考え方が注目されています。個人としても集団や社会的にも「良い状態」を表すそうです。私は、身体が健康であり、心が幸福であり、個人的にも集団的にも「幸せが持続している状態」だと捉えています。それでは、ウェルビーイングを向上させる、幸せを持続させるには、どうしたらよいのでしょうか。慶應義塾大学大学院の前野 隆司 教授は、幸せに関するアンケート調査から次の4つの要因を満たせば、誰もが幸せになれるということを唱えています。

まず第1番目として「やってみよう！」という意識です。夢や目標をもち、実現するための自分のよさが分かっている人や、よさを生かすために成長しようと努力を続けることです。

第2番目に「ありがとう！」という気持ちをもつことです。誰かのために何かしたい、喜ばせたい、感謝したいという気持ちが強い人は、多くの人々とつながりをもって互いに助け合うことができるようになります。

第3番目に「なんとかなるさ！」という前向きさ・楽観さです。物事をネガティブ（悲観的）ではなく、ポジティブ（前向き）に考え、「いつか何とかなるさ」と楽観的に考えて行動することが自分を楽にします。

第4番目は「ありのままに！」です。他者と自分を比較せず、まわりの目を気にしないで自分らしさや個性を発揮している人は、幸せになれる。

前野教授は「幸せになる4つの要因を意識することで、幸せはコントロールできる」と述べており、4つのことが満たされている人ほど、幸福度が高くなることを研究で明らかにしました。

2学期は、残された中学校生活や将来の基盤を築くためにも、自分の可能性を信じて目標を実現させるとても大事な期間です。みんなで幸せになろうという「Well-being (ウェル・ビーイング)」の考えのもとで、2学期を過ごしましょう。

「新津第一中学校教育ビジョン」の達成度（中間評価）について

今年度の重点目標「深い学びの実現」「支援的人間関係の育成」「社会に貢献する態度の育成」について、その達成度を評価する学校（中間）評価（生徒の自己評価アンケート）の集計結果がまとまりましたので、お伝えします。

重点目標達成のための具体的目標の達成度

＜重点目標 1 深い学びの実現＞

評価指標 ■ 単元ごとの振り返りの実施 未達成 84.0%（目標 90%）

● 「深い学び」を実現する単元デザインの構築

・授業の話し合いや討論で、自分の考えを深めることができる 83.3%

● 振り返りの継続による記述力の伸長

・明確な根拠をもち、筋道を立てて自分の考えを文章表現ができる 76.5%

● 授業と連携した家庭学習の充実

・家庭学習を新潟市の基準以上やっている 18.0%

基準：1年生（80分）2年生（100分）3年生（120分） 休日は22.7%

*内訳＝平日：1年生（80分）26.8% 2年生（100分）14.4% 3年生（120分）12.9%

休日：1年生（80分）33.4% 2年生（100分）16.0% 3年生（120分）18.8%

（参考）・宿題をきちんとやっている 85.1% ・宿題以外に自主学習をしている 60.8%

「深い学び」とは、各教科の見方・考え方を働かせながら、知識を相互に関連付けてより深く理解したり、情報を精査して考えを形成したり、問題を見いだして解決策を考えたり、思いや考えを基に創造したりする学びのことです。その実現のため、習得した知識・技能を活用して、課題を解決するような授業（アクティブ・ラーニング）を進めています。しかし、「深い学び」の実現に向けた、単元ごとの振り返りの実施が84.0%と目標の90%を達成することができませんでした。その反面、「授業の話し合いや討論で、自分の考えを深めることができる」と感じている生徒が83.3%と、肯定的にとらえている生徒は多く、対話を重視した学びの深まりをすべての授業で実施している成果であると捉えています。また、「明確な根拠をもち、筋道を立てて自分の考えを文章表現できる」と感じている生徒は76.5%と、昨年同様の高数値でここ数年「書く」活動を重視してきた成果と捉えています。

課題は家庭学習です。宿題にはしっかり取り組む生徒は85.1%と高い数値を示していますが、自主的に取り組む生徒が60.8%であるように、自ら課題を決めて学習に取り組む習慣が身につけていないようです。今後は宿題をベースに、主体的に学習に取り組める環境づくりの工夫をしてまいります。

＜重点目標 2 支援的人間関係づくりの推進＞

評価指標 ■ 学校が楽しい生徒 達成 90.0%（目標 90%以上）

● 自律性と社会性を育む生徒指導

・清掃や係活動を確実にやりとげる 93.2%

・自分にはよいところがある 75.6%

● いじめ・不登校への対応

・友達の良さを認められる 92.3%

・道徳授業で考え、議論する 89.8%

● 体力・健康づくり、食育の推進

・体育の時間が楽しい 82.4%

・朝食を毎日とる 94.1%

生活面では、多くの生徒が「清掃や係活動を確実にやり遂げる」と答えています。特筆されるのは、「友達の良さを認められる」と感じている生徒が**92.3%**で肯定的に捉えている生徒が多いことです。しかし、「自分には良いところがある」については**75.6%**と、まだまだ自己肯定感が低い生徒がおり、「ほめて育てる指導」等を継続し、成功体験を積み重ねていくことで生徒が自信をもって、学校生活を送れるような取組を進めていきます。

「仲間と考え、議論する」道徳科の授業にも、積極的に取り組んでいる様子が伺えます。また、体力・健康づくりに欠かせない朝食を毎日とる生徒は**94.1%**と高い目標も達成しました。これは各ご家庭のご協力の賜であり、今後も学校と連携した食育を進めていければと考えています。

＜重点目標3 探究学習の充実および地域との連携＞

評価指標■地域のことに触れたり調べたりするのが好きな生徒

72.9% (目標80%)

●E S D (持続発展教育) 探究学習の充実

- ・将来就きたい職業があると答える生徒 59.8%
- ・地域の大人にほめられるとうれしい 78.3%

●自分の将来を見据えた教育活動

- ・今学んでいることが将来に役立つと考える生徒 84.5%

●地域貢献活動

- ・地域の大人とあいさつしたり、言葉をかわしたりしている生徒 77.2%

「今学んでいることが将来役に立つと考えている」生徒が**84.5%**と肯定的に捉えている生徒が多く、中学生として将来を考え始める時期に来ているということが伺えます。また、「将来就きたい職業がある」と答えた生徒では全校で**59.8%**であるように、これからの職業への明確な捉えが必要な結果でした。また、当校は生徒会のアルミ缶回収活動という社会貢献活動に取り組んでいます。ここ数年コロナの影響で規模を縮小していますが、できる範囲で生徒会の各委員会や部活動単位で地域の行事、新津松坂や地域活性化のイベント等に積極的に参加しています。今学んでいることを生かして地域課題の解決に積極的に取り組む生徒が増えてほしいと考えています。

「地域の大人とあいさつしたり、言葉をかわしたりしている生徒」が**77.2%**でしたが、全校の約8割の生徒が地域の方とのコミュニケーションができていると感じていることは良い傾向であります。また、あいさつの良さは、一中生の特長でもありますので、地域との連携を深めるためにも、より一層力を入れて具体的な取組を進めていきます。

前期は、課題である家庭学習の習慣化や自己肯定感の向上等については、課題が残る結果となりましたが、伸びたところ、課題となっているところそれぞれの原因を分析し、伸びたところはさらに伸ばし、課題は克服すべくこれからの教育活動を展開してまいります。

後期の教育活動においても、保護者の皆様から多大なご支援、ご協力よろしくお願い申し上げます。

夏休み中も大活躍の一中生！！

【北信越大会】

水泳 50m自由形 長谷川将大 5位
100m自由形 長谷川将大 3位

【全国大会】

水泳 50m自由形 長谷川将大 予選第2組7位

合唱部 NHK全国学校音楽コンクール 新潟県大会 金賞 関東甲信越ブロック出場

全日本合唱コンクール新潟県大会 新潟県大会 銀賞

吹奏楽部 新潟県吹奏楽コンクール(中学校A部門) 銅賞